

# 光鯨会だより

第35号 [令和5年12月]

発行 | 光鯨会  
会長 | 小野 徹郎 (S43)  
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)  
連絡先 | 伊藤 洋介 (MH17)  
☎ 052-735-5508  
✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

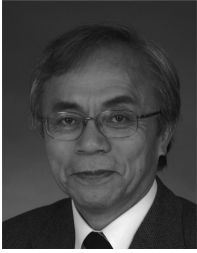
HP | <http://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内  
( )内の数字は卒業年次を示します。またM:修士、D:博士 での卒業になります。

## I | 会長挨拶

### □会長挨拶 「中国に旅して」

小野 徹郎 (S43) 光鯨会会長／名古屋工業大学名誉教授



11 月には関西と関東の支部総会、懇親会に出席してまいりました。両支部とも活発に活動されており支部長はじめ幹事の方々に厚く御礼申し上げます。関西支部では昭和 38 年卒の長谷川さん、鶴飼さんにもお会いでき嬉しく思いました。また関東支部では昭和 35 年卒の伊藤さん、前会長で昭和 39 年卒の岡本さんのお元氣な姿に感心しきりでした。

10 月末に国際会議で中国、北京に行つてまいりました。会議の後、曲阜を訪れました。曲阜は孔子の故郷で、織田信長が「岐山」と「曲阜」から「岐阜」と名付けたと言われている場所です。曲阜は孔子の生誕地ということで中国人の心の故郷となっており、多くの中国人観光客、学生の旅行先でした。中国での IT 化の進み方は凄まじく、スマホでタクシーを予約したり、お店でも現金はもとより、クレジットカードもあまり使えなく外国人旅行者は困惑しましたが、この春、神奈川大学教授から北京工業大学の教授に転身された趙先生 (1996 年 Dr.) に助けをいただき切り抜けました。

先生と話をする中、論語より老子の方が自分に合っている

とのことでした。そんな訳で私も老子を読み始めました。その 1 章に「物事は常に化する、あなた自身もそうだ、その変化の危うさを恐れるな」と記されています。年と共に変化を望まない自分に対する言葉として肝に銘じたいと思います。また 31 章には「兵器は不吉な道具である」「それゆえ天下を欲するものはこれに頼らない」「兵器を賛美してはならない」「賛美すれば殺人を楽しむものと同じである」とあります。今世界で起きている戦争には、日本からは想像を絶する現実があります。それを受けて我が国でも軍事力の強化が叫ばれています。これには私はいつも違和感を覚えています。新しい戦前を私たちが作らないようにしたいものだと思つています。

最後にいつもながらのお願いですが光鯨会の活動は皆様の会費で運営されています。多くの会員から浄財をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。会費の納入率は幾分増加傾向にありますが、まだまだ思うように進んでおりせん。私としてはなんとか 30% は超えたいと思つています。是非、今後とも会費の納入をよろしくお願い致します。名工大の建築系教育の更なる発展に光鯨会が深く関わり同窓の絆が深まることを願つてやみません。

## II | 恩師だより

松本 直司 (TOK) 名古屋工業大学名誉教授



私が名工大に赴任したのは、1989 年 5 月 10 日のことです。それから 2016 年 3 月までのほぼ 26 年 11 カ月、建築計画を専門とする助教授、そして教授として名工大にお世話になりました。その間、光鯨会の皆様にはいろいろご指導・ご支援いただき、有難うございました。

定年退職後は、これまでの講義や講演会での資料整理を行い、時々役所の委員会・審議会に出席するなどしております。今でも、名工大には学会の研究会や本の編集会議で 2 か月に 1 度程、夕刻にお邪魔しております。そんな日々ですが、時間の余裕ができたので本をできるだけ読むようにしています。

在職中は、優秀な名工大の学生・大学院生の皆さんのおかげで、審査論文だけでも 190 編余りを数えました。中津

川市や、可児市、美濃加茂市、美濃市などで学生と一緒に景観調査したことが懐かしく思い出されます。中津川市と可児市では、今でもいろいろお手伝いさせていただいております。イギリスのレディング大学の研究者とずいぶん前に共同した、羽田、成田、関西、名古屋の各空港での施設利用の研究は、国の内外で今でも結構読まれているようです。赴任当初から行ってきた「空間の乱雑・整然性の研究」については、外国人留学生により継続され、テーマやフラクタルなどの分析手法の新規性ゆえに、海外の研究調査機関の俎上に載って、多様な分野の研究者に注目を得ています。

古代ギリシャのヘロドトスの言葉に『「歴史」それは彼の物語』とあるようですが、物語を話すことが歴史になるということのようです。せめて、私が名工大の学生とともに語ったことが、他の人の心に残りつづけてほしいものだと願つて、日々過ごしております。

### III | 卒業生は今

#### □本部

##### 松本 浩明 (H19) トヨタ自動車(株) プラント・環境技術部

大学院修士課程を修了後、2009年にトヨタ自動車株式会社に入社し、早いもので14年が経ちました。入社後は一貫して、社内施設の企画・計画を担当するプラント・環境技術部に席を置いています。入社から途中1年間の中国赴任を含む8年間を実験施設の計画・工事管理を、以降現在に至る6年を国内工場におけるライン切替、空調更新の計画・工事管理を担当しています。入社からの社会情勢を改めて振り返ると、入社直前に発生したリーマン・ショックを契機とした世界的不況、東日本大震災、気候変動対策に向けたCO<sub>2</sub>排出の世界的な規制の強化とそれに伴う電動車のシェア拡大、近年の新型コロナウイルス感染症拡大など、会社を取り巻く環境は変化を続けています。

自身の専門分野としては「建築設備」ということになってはいますが、このような情勢のなかで取り組む内容も水素関連の設備計画や省エネ対応など幅が広がってきています。しかし、個々の計画における実務は案外類似しており、特に国内においては、いかに既存施設を活用するかとの観点で社内外の協力を得ながら計画を具体化・実行しています。社内においてある意味金言となっていますが「現地現物」という、現実に対応した計画とすることを意識して日々の業務に取り組んでいるところです。日々業務の中で係の方々のなかに名工大OB,OGも多く、業務の中で得られる関わりを引き続き大切にしていきたいと考えています。

#### □関東支部

##### 甲村 健一 (H4) K E N一級建築士事務所

清水建設に入社し30歳で事務所を起業しました。開業25年経つ現在も建築家として活動しています。大学入学時は建築家を目指すも製図課題では納得のいく作品は創れずにいましたが、清水時代の上司から建築の楽しさを学び、一念発起して独立しました。

不安でつぶされそうになりながらも必死に奮闘し、建築家として独立当初の目標であった主要建築専門誌への掲載も30作品を超えてきました。また名工大にも30代で非常勤講師、40代で客員教授として招集して頂き、数多くの後輩学生とふれあえたことは誇りに思いますし、皆様に感謝しています。

50代半ばの現在は事務所経営のみならず、全国行脚をして建築にふれあい学びの機会を作ることや、企

業へのアドバイザー業務や講演を通して多くの作品に寄与し業務の幅を広げる一方、設計契約件数を年1作品に絞り集大成が創造できるよう努めています。

また人生の転換期とも捉え、今できることを考え余暇時間を増やしたり、人と出会う喜びを感じながら、30年間で学んだ建築設計の楽しさを多くの人に届けられるように今後とも活動を続けたいと思います。



#### □関西支部

##### 関谷 祐希 (H27) 積水ハウス株式会社

積水ハウスに就職し、9年目となりました。

入社後は展示場や工場見学施設の計画に従事、その後は岐阜で設計としてお客様の家づくりを担当しました。学生時代から描いていた住宅設計者として、こだわりの要望を叶えることで喜んでもらえることは本当に嬉しいです。プレハブ住宅メーカーですので、打合せから竣工までは早いですが、その分多くの住宅に関与でき、様々な施主と話せることが醍醐味と思います。

現在は、技術系設計社員の育成を専門とした部署で、新入社員～ベテラン設計までの研修の企画運営を担当しています。ハードからソフト面まで多岐に渡る研修があります。社員同士は研鑽し合う風土があり時には建築家の先生も交えて知識を深めています。

修士時代は石松研究室に所属していました。研究室で経験した企画・運営・連携力については、社会人になり何年経っても生きています。

秋の心地の良い日は、山に登り、緑や自然の空気、土のおいさに癒されながら日々過ごしています。



小さいけれどお気に入りの担当物件です。

## IV | 大学は今

### □分野長挨拶

佐藤 篤司 (H10) 建築・デザイン分野長／名古屋工業大学教授

常日頃より、大学に温かい心遣いいただき、誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

通常の大学生活に戻り、デザインスタジオ（旧製図室）の利用も活発になり、建築棟（24号館）4階の部屋は夜遅くまで点灯しています。学生演習室は、別の建物にも用意されており、2年生は全員そちらの建物（4号館）にデスクを構えて作業に勤しんでいます。少し前までは、3学年が建築棟の部屋に入っている状態でしたので、その時期に比べるとゆとりを持ったスペースの中で作業ができています。

4年前から始まった新教育課程では、1年次前期から建築設計製図がスタートする一気通貫型の教育を実践しています。その中で、まずは作って体感してみようという目的で「NITech Pavilion」ワークショップを

今年も実施しています。1年次を6グループに分けて、与えられた条件の中で、空間を創出する架構製作に挑戦しています。学生は「作る」という過程の中から多くの学びを得ていることを実感します。また、製作過程は同級生と深くコミュニケーションをとる機会にもなっており、学問的な事に留まらな良い効果が出ていると言えます。



写真：8月上旬のパビリオン一次製作を終えて

### □OB・OG交流会

村松 伸彦 (H25) 大和ハウス工業株式会社

12月6日に光鯨会本部第18回OB・OG交流会が名古屋工業大学で開催されました。学部生、大学院生を対象に、OB・OGから仕事の内容や職場の様子、就活のアドバイスを紹介し、今後の進路の参考にしてもらうことを目的に毎年開催されています。

第1部は先輩からのガイダンスとして、6名のOB・OGの方にゼネコン設計部門、ゼネコン施工部門、ハウスメーカー、官公庁、インフラ関係の様々な立場から仕事内容や勤務状況等について紹介いただきました。

磯和孝史さん (H15卒 清水建設(株))  
杉浦亜由美さん (H18卒 清水建設(株))  
田淵大成さん (R04卒 (株)奥村組)

鶴飼直哉さん (R01卒 大和ハウス工(株))  
高木麻衣さん (R02卒 名古屋市役所)  
北川穂乃香さん (H26卒 中部電力(株))  
第2部は大学会館大食堂に移動し、3年ぶりとなる懇親会を行いました。懇親会ではガイダンスより一歩踏み込んだ話が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。今後も継続して開催していきたいと考えます。 第一部 先輩からのガイダンス



### □秋の見学会報告

佐野 泰久 (H14) 名古屋市役所

前日からの雨は上がったものの、肌寒さが残った11月11日土曜、秋の見学会が実施されました。今回はNHK大河ドラマ「どうする家康」をテーマに、岡崎と浜松をめぐる行程です。

コロナ禍も明け、観光バスは満席で定刻どおり鶴舞から最初の目的地である岡崎城へと向かいました。現地では地元ガイドの方にご案内いただき、お城や石垣、家康のへその緒が埋められている場所(?)などを軽妙なトークと共に満喫。住職が家康に厭離穢土欣求浄土の教を説いた大樹寺では、「ビスタライン」を見通し、歴代将軍家等身大位牌などを拝観しました。

岡崎ではもう1か所、岡崎信用金庫資料館（旧岡崎銀行本店）を訪れました。鈴木禎次の設計により

大正6年に建造された建物で、名工大准教授の夏目先生により建物の見どころを解説いただきました。

ホテルコンコルド浜松で豪華な昼食を済ませた後、TV放映もいよいよ佳境に入ってきた「どうする家康浜松大河ドラマ館」で今後の展開に思いを巡らせ、最後に春華堂うなぎパイファクトリーに立ち寄り、甘い香りに身を包まれながら鶴舞に戻りました。



## V | 光鯨会は今

### □関東支部だより

吉井 正行 (S58) 関東支部長 / 清水建設株式会社

光鯨会関東支部では、11月17日に支部総会・懇親会を開催しました。新型コロナの影響で2019年以來の開催でした。今回は約60名の方が出席しました。そのうち11名は2020年から2022年の新入会員の方々です。母校からは、小野名誉教授、井戸田教授にお越しいただきました。

総会では井戸田先生による大学の近況報告と動画で加茂先生による鈴木禎次賞受賞報告がありました。また、野呂先輩より光鯨会副会長交代についての報告がありました。

小野会長の挨拶のあと、関戸先輩の発声による乾杯で、懇親会がはじまりました。S57卒の花井先輩から日本建築学会教育賞受賞講演をしていただき格調の高い同窓会になったと思います。2020年から2022年3年分の本部交付金が繰り越されていて予算に余裕があったので食事も例年よりグレードアップしました。参加した皆さんにも満足していただけたと思います。最後に2020年以降の新人から一人ずつ自己紹介をしていただき、最長老 伊藤 禎治様と

山川相談役から会を締めました。

最後になりますが、来年は光鯨会全国大会が関東での開催になります。どのような企画にするのか全国大会実行委員会を立ち上げ、年明けから検討を始めます。皆様の全国大会への積極的な参加をお願いいたします。



2020年～2023年の新人の皆さん

〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16-1-14号  
清水建設(株) (090-2724-0319)  
関東支部長 吉井正行 (S58)、事務局 掃部顕吾 (H12)  
副支部長 鈴木孝彦 (S59)、宇佐美徹 (H3)

### □関西支部だより

田邊 太一 (S57) 関西支部長 / 大手前大学

11月11日に関西支部総会と見学会を開催しました。今年は、コロナ禍で中止していた懇親会を対面にて行いました。

総会には、他の支部や工業会からの来賓も含め40名もの会員の方々に出席していただきました。

来賓の光鯨会小野会長 (S43) と工業会大阪支部堀口支部長 (C59) からご挨拶を賜りました。また、光鯨会本部長の井戸田教授 (S58) より母校の近況を話していただきました。

久々の懇親会では、出席者の方々の近況等のお話を聞く事ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

支部総会に先立ち、平城宮跡地の大極殿院東楼の復原



関西支部総会 (対面 於: ホテル日航奈良)

工事の見学会を実施しました。見学会では、建物の計画に参画された文化財建造物保存技術協会の春日井氏 (S62) と施工を担当されている竹中工務店の橋本氏 (H25) の二人の光鯨会会員から話を聞くことができました。

図らずも、光鯨会の人脈の広さを知る見学会となりました。



工事現場見学会 (平城宮跡大極殿院東楼復原工事)

〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42  
大手前大学 建築&芸術学部 (0798-34-6331)  
関西支部長 田邊太一 (S57)、副支部長 神澤宏明 (S58)  
事務局長 竹内健一 (H3)、連絡担当者 山崎航一 (H25)

### □名古屋工業大学名誉教授 河田克博先生ご逝去について

清水 隆宏 (H13) 愛知工業大学

河田克博名誉教授が2023年10月29日、ご逝去されました。71歳でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

あまりに突然のことで、ご訃報に接した全員が驚きと悲しみを感じています。第33号の「恩師だより」では、授業や文化財調査でお忙しくされていることをご紹介されており、なお精力的にご活躍されている様子が窺えました。お亡くなりになる当日も日本インテリア学会の全国大会が名古屋で開催されていましたが、先生は副実行委員長としていつもと全く変わらず大会運営に携わられていました。最後までご自身

の役割を果たし、周囲に迷惑をかけずに旅立たれたのは、とても先生らしいと感慨に浸っています。

私は学生時代に6年間河田研究室に在籍し、その後も学会などでご一緒させていただいておりましたが、先生は常に誰からも頼られ、的確にご指導・ご助言をされていました。これからは、これまでお世話になった我々がその責務を果たせるよう努力していかなければなりません。

河田克博先生の長年に亙る光鯨会へのご尽力に心から敬意を表します。

# 光鯨会だより

第35号 [令和5年12月] 特集版

発行 | 光鯨会

会長 | 小野 徹郎 (S43)

本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)

連絡先 | 伊藤 洋介 (MH17)

☎ 052-735-5508

✉ koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp

HP | <http://koukokai.jp/home>

〒466-8555 名古屋市中昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内

## □鯨ボックス寄付者 2023/6/29~2023/12/4にお手配くださった方を記載 (敬称略)

[S28] 西山 領(2)、[S32] 清谷 太一(1)、[S33] 春田 直明(1)、[S34] 澤村 宏明(4)、澁谷 弘二(1)、[S37] 菅野 安正(1)、[S38] 鶴飼 邦夫(2)、長谷川 孝(2)、吉永 深(1)、[S39] 岡本 賢(1)、村瀬 正晴(2)、富永 宏幸(1)、山田 宗廣(1)、[S40] 柿沼 敬喜(1)、三好 修(2)、堤 眞司(1)、中村 功(1)、[S41] 木村 衛(2)、高橋 信男(2)、[S42] 久保 幸典(2)、[S43] 岡田 典久(1)、小野 徹郎(2)、内藤 克己(1)、薬師寺 宣安(4)、後藤 和彦(1)、[S44] 原 弘久(2)、山根 勝彌(1)、[S45] 永田 敬雄(2)、[S46] 岡崎 格郎(1)、森 英範(4)、[S47] 橋本 徹二(1)、[S48] 立木 亨(1)、[S49] 村上 貞明(1)、玉置 博計(1)、満田 高久(2)、[S50] 井上 修一(1)、[S51] 北出 正俊(1)、佐藤 昌紀(4)、[S52] 葛田 守弘(1)、[S54] 井上 康造(1)、中村 浩巳(2)、[S55] 岡本 哲美(1)、水谷 公子(1)、[S56] 壁谷 雄二(2)、小林 秀美(1)、中西 正明(1)、伏見 光雅(1)、[S57] 高木 晃二(2)、[S58] 中園 昭彦(2)、廣瀬 善香(1)、山下 明男(1)、[S59] 鹿島 孝(1)、鈴木 孝彦(1)、吉本 辰哉(1)、[S60] 佐藤 薫(5)、住 哲也(2)、土井 邦夫(1)、[S62] 加藤 茂裕(1)、[S63] 深見 忠明(1)、[H02] 杉浦 馨(1)、寺西 敦敏(1)、長尾 茂樹(1)、横尾 慎一(1)、[H03] 近藤 正一(1)、[H04] 吉田 文久(1)、[H05] 夏目 欣昇(1)、[H08] 鈴木 晶博(2)、[H09] 加古 康也(1)、[H10] 花井 伸明(2)、[H11] 上里 智之(1)、神野 貴之(1)、[H12] 藤井 理史(1)、[H16] 佐々木 哲朗(2)、[MS46] 上林 研二(2)、[MS57] 城戸 康近(10)、[TOK] 浅井 裕雄(2)

※ご寄付いただいた額の口数をお名前の後ろに記載しております。なお、5000円未満を1口とさせていただきます。

※鯨ボックスへの寄付は随時受け付けております。ご寄付くださる際、ぜひメッセージを添えてください。適宜、本紙にてご紹介いたします。

## □年会費納入者 (一般・自動振込・終身) 2023/6/29~2023/12/4にお手配くださった方を記載 (敬称略)

[S44] 天野 政明、井川 憲男、市橋 隆、中井 勝敏、西本 憲夫、橋村 一彦、原 弘久、山川 元伸、山口 博史、山根 勝彌、渡邊 好之、戸川 仁、[S45] 荒金 謙一、北山 和明、坂田 孝之、菅野 淳博、須山 一彦、田中 孝典、鳥居 徳敏、永田 敬雄、西村 正和、三浦 忠雄、三澤 紀夫、宮崎 勝秀、山本 栄治、吉田 則雄、和田 邦隆、[S46] 乾 康雄、江畑 弘、岡崎 格郎、奥原 久之、久野 道夫、小林 哲郎、呉屋 守将、近藤 豊太郎、齋藤 彰良、竹川 忍、野上 邦宏、野呂 一幸、檜皮 幸男、福井 一博、松田 登、三浦 茂、元谷 瑛、森 英範、[S47] 石田 進、漆畑 伸、春日 晴紀、片山 憲一、川嶋 陽介、河村 孝一、佐伯 克彦、酒井 澄、島田 啓三、難波 剛、橋本 徹二、平松 充、宮口 恒樹、[S48] 大橋 芳雄、小野 利晴、河崎 恭夫、川端 寛文、倉岡 誠一、小林 真澄、勢力 常史、春日 博高、高村 利昭、立木 亨、西村 雅史、平野 悟、前田 俊雄、森 雅幸、柳川 進一、渡邊 拓人、[S49] 石田 壽、市川 達夫、村上 貞明、遠藤 茂樹、小川 修、釘持 政之、小松 信春、竹嶋 幸彦、玉置 博計、中本 浩二、満田 高久、湯本 尚樹、[S50] 石川 恵子、井上 修一、岡本 敏嗣、岡本 光生、小田 義彦、小田 一之、河田 克博、上林 進、金斗 克彦、楠田 修三、畔木 穰治、黒田 孝亮、鈴木 幸治、須原 享志、高橋 和生、竹内 一博、竹内 三郎、龍野 広、萩田 雅也、松永 勝己、宮崎 光生、八神 博史、山田 一信、吉村 尚、[S51] 天野 修、井澤 知且、掛布 勇、河合 克美、来田 光博、北出 正俊、慶佐次 操、齋藤 文伸、酒井 直己、佐藤 昌紀、武内 幸治、玉水 新吾、千葉 茂樹、西井 信幸、布目 彰夫、水谷 章夫、三村 俊雄、吉原 俊雄、[S52] 浅野 泰樹、市之瀬 敏勝、岩井 衛、三宅 宏、熊野 俊昭、小岩 豊、小林 信介、末永 俊彦、高木 郁生、武仲 裕司、樽見 大三、葛田 守弘、徳久 光彦、渡久山 盛清、中山 益蔵、福井 雅彦、真井 邦晃、湊口 民弥、[S53] 東加寿好、伊藤 雅春、神谷 省次、木村 正彦、杉戸 厚吉、早矢 仕昭、藤澤 繁男、森本 泰崇、山中 保博、[S54] 石川 時雄、井上 康造、岩波 正、小池 博之、小山 裕康、里川 幸夫、高橋 茂治、田中 清之、谷 宣広、谷垣 正彰、中出 裕康、中西 達彦、中村 浩巳、安田 勝彦、山崎 健司、[S55] 朝倉 祥行、岡本 哲美、勘代 敬子、久保 光範、古賀 靖廣、小島 功、杉澤 和男、鈴木 雅宏、田窪 大作、中川 晶夫、水谷 公子、水谷 信雄、三宅 辰哉、宮本 和則、三輪田 康正、[S56] 龜山 和生、池村 和久、伊藤 辰也、大竹 康久、壁谷 雄二、上梅澤 保博、桑原 史明、小林 秀美、雑賀 俊宏、佐久間 昭男、高嶋 繁男、高藤 勝己、壁谷 尚広、中西 正明、長谷部 斎、伏見 光雅、藤本 信介、堀之内 雄一、[S57] 磯貝 勇壽、内田 光一、大塚 善史、北本 義昭、黒野 忠之、坂口 敏雄、杉本 靖夫、高木 晃二、竹内 義高、竹村 誠二、田邊 太一、徳野 亨、中川 進一郎、服部 豊、花井 勉、福田 満、松井 明子、水谷 剛、山邊 雅英、[S58] 石田 富男、井戸田 秀樹、岩田 康徳、宇崎 功二郎、宇都宮 直樹、裏橋 信夫、小倉 俊彦、神澤 宏明、川島 猛、近藤 修、末廣 晃一、鈴木 勉、須原 宏、武田 敏夫、豊田 光利、中澤 敏昭、岡田 昭彦、新美 康夫、野田 勝久、廣瀬 善香、藤井 修、水谷 且哉、宮浦 克仁、山下 明男、吉井 正行、吉田 賢吾、[S59] 浅田 豊、市之瀬 和明、小川 浩信、鹿島 孝、片岡 一則、壁谷 明典、唐澤 邦夫、河辺 伸二、児玉 博、山明、鈴木 孝彦、田中 義成、田村 衛、中尾 勝悦、中瀬 知幸、西村 吉史、丹羽 一人、林 浩二、宮地 陽司、山下 司、吉本 辰哉、[S60] 市川 健二、佐藤 薫、柴田 利治、杉坂 正、角 克彦、住 哲也、柘植 誠、土井 邦夫、羽津 本好弘、藤林 和照、松田 裕司、森 恵美、安江 達郎、山川 博幹、[S61] 上村 肇、近藤 伸一、佐藤 文雄、佐藤 正幸、白石 記之、竹下 均、田中 浩、辻 博久、[S62] 今井 奈穂美、太田 原克則、加藤 茂裕、川井 裕基、黒崎 仁資、黒崎 英子、小坂 喬峰、近藤 浩史、高野 貢一、富田 彰次、原 寿成、平沢 実、[S63] 石井 俊作、石田 交広、大西 稔、岡田 秀明、岡本 誠司、田中 薫、野田 雄一、羽入 田茂、深見 忠明、[H1] 生本 孝幸、糟谷 裕一、加藤 伯彦、武田 基、寺本 光治、松永 茂巳、渡邊 明宏、[H2] 稲葉 一秀、大木 仁、岡田 博文、清原 猛嗣、佐藤 政人、杉浦 馨、高岡 秀明、田中 国彦、田中 康範、恒川 真一、寺西 敦敏、長尾 茂樹、沼田 岳彦、長谷川 利樹、森 和久、横尾 慎一、渡邊 諭、[H3] 井上 寿、宇佐美 徹、護摩 望、近藤 正一、坂神 光則、竹内 健一、谷口 智則、寺田 憲二、二村 定治、池沼 靖子、宮島 孝之、川田 哲也、山田 知樹、渡邊 孝一、[H4] 岩田 佳子、釜田 学、甲村 健一、佐藤 裕一、宮本 征一、武藤 正樹、吉田 文久、和田 真、[H5] 伊藤 篤之、大久保 俊克、川端 功二、久保田 尚義、下野 耕一、鶴田 幸恵、寺島 宜孝、富田 剛史、豊田 康明、永田 誠、夏目 欣昇、羽生 田剛成、牧野 健、羽生 純一郎、[H6] 浅野 健、安藤 健、池田 孝洋、宇佐美 智伯、北埜 祐子、近藤 早映、近藤 崇、瀨藤 慎一、西村 幸洋、橋本 幸治、牧野 利華、[H7] 奥山 照美、上之郷 貴重、是澤 紀子、長江 健治、羽生 田善将、本並 洋二、山縣 正、鷲津 愛、鷲津 篤夫、[H8] 市川 有希子、伊藤 嘉規、河登 健太郎、北川 啓介、木下 淳、久保 律人、鈴木 晶博、中村 雅之、中村 祥保、土方 和己、村瀬 隆一、[H9] 青木 哲、浅野 正裕、加古 康也、田中 俊洋、永井 敦基、中島 正人、竹内 靖子、[H10] 北川 珠美、金泉 奨、木村 文子、後藤 大輔、佐藤 篤司、奥本 剛、辻 敦、成田 憲人、花井 伸明、濱口 順司、横井 智雄、渡邊 恒久、[H11] 上里 智之、勝本 隆洋、小林 竜馬、小保田 庸平、小山 裕介、神野 貴之、中川 康弘、林 幸司、吉田 孝司、[H12] 大鳥 穰、大橋 一仁、岡田 貴行、角田 高志、掃部 顕吾、佐々木 和紘、澤井 清輔、藤井 理史、森 洋一、[H13] 勝本 直子、魚住 将之、水谷 安孝、山崎 賢二、渡部 友幸、[H14] 井上 雄貴、奥田 崇、金子 直樹、土坂 一謙、笹崎 紀子、田中 弘臣、野田 聡、佐野 泰久、日比野 陽、[H15] 安藤 悟、井川 崇史、上原 大輔、野本 篤史、山本 浩司、[H16] 山田 梨佳、石川 雄一、菅野 貴孔、佐々木 哲朗、長江 有祐、山田 厚治、山本 祐樹、[H17] 清水 玲子、佐藤 和哉、澤 秀俊、[H18] 小澤 秀允、多田 慧、長坂 真理子、箕田 知之、[H19] 今村 こゆき、姜 廷達、加藤 智那、松本 浩明、[H20] 大谷 友香、岩波 史恵、二井 健、齋田 仁美、平井 佐代子、[H21] 金子 慶太、鈴木 康雄、平井 健一、吉田 和也、[H22] 木全 瑛二、小島 崇徳、横山 太郎、[H23] 青山 昇洋、伊藤 嘉基、嶋 亜由美、熊谷 真伍、彦坂 雄三、[H24] 荒金 賢太、川瀬 喬久、桑山 もも、松村 侑大、松本 拓也、水野 翔太、三井 和也、山川 陽平、[H25] 伊藤 大輝、岡本 光平、春日 功助、木田 脩太、小林 亮太、中村 公哉、橋本 慧、森 誠司、山崎 航一、小笠原 光治、[H26] 蔵野 洋美、佐々木 裕佑矢、新海 智之、平 翔、土屋 大志、山崎 香菜絵 [H27] 帯名 海辰、加藤 正都、杉岡 敬幸、玉木 智大、中澤 真平、鳴海 晃司、谷 直人、[H28] 青山 雅弘、高橋 紘史、大嶽 伸、小川 隼平、河合 大志、後藤 良介、佐脇 祥郎、高井 峻、西山 史晃、平野 有未、山田 風人、吉本 隼、北川 大祐、[H29] 鈴木 宏彰、早川 健一、森長 和也、吉田 成克、[H30] 小野木 武司、鈴木 泰嗣、[H31] 井上 裕太、佐藤 拓海、柴垣 有希徳、中石 湧也、森 瞭太、[R2] 大石 龍之介、田上 功也、林 拓朗、[R3] 小野 和也、金子 真大、北川 佑亮、園部 裕子、中塚 奏哉、[R4] 石津 直人、佐橋 柚香、鈴木 恵人、神野 帆乃香、東浦 莉歩、大田 海斗、[MS43] 日比 龍美、油浅 耕三、[MS46] 上林 研二、[MS47] 宇石 好治、[MS49] 小倉 正憲、[MS52] 尾崎 猛美、[MS56] 岡本 真理子、服部 光夫、[MS57] 城戸 康近、[MH4] 張 奕文、[MH10] 服部 径子、[MH11] 富山 正士、[MH15] 加納 進、[MH16] 下山 悠、[MH17] 伊藤 洋介、[MH18] 安田 知永、杉山 祐一郎、[MH21] 小島 恵子、[DH5] 沖本 弘、[DH8] 趙 行剛、[DH12] 高木 清江、[DH23] 高橋 之、[DR3] 水野 貴子

※光鯨会は皆様の会費によって成り立っています。同級生の皆さまにも会費納入のお声掛けください。

※光鯨会だよりでは会員からの投稿を募集しております。お知らせや近況等、本会本部事務局までお知らせください。